【強制選択】　④創造する経営者P197

【原則】数少ない大きな機会に対し、
数少ない一級の人材を割り当てない限り、優先順位を決定したことにはならない。

- 機会はそれを実現するための手段よりもはるかに多い。
- 数少ない大きな機会に対しては、目前の確実ではあっても小さな機会は犠牲にしているか？　Y ・ N
  1)　それは潜在的な可能性を、顕在化させる機会か？　Y ・ N
  2)　それは、未来において何かを起こすための大きな機会か？　Y ・ N
- 難しいのは劣後順位の決定、なすべきでないことの決定である。延期は放棄を意味する。
  一度延期したものを復活させることをしていないか？⇒それは失敗である。　Y ・ N
- 本当に重要なこととして、決定したことを断固行っているか？⇒行わなければならない。　Y ・ N
- 成行に任せるくらいならば、例え間違っていても自ら意思決定を下しそれを実行に移した方が害はない。

step1　「第一級のチームや人材のリストをつくり、それぞれに順位をつける」

チームや人材	順位	特徴（強みや弱み）							

step2「大きな機会のリストをつくり、それぞれに順位をつける」

チェック	大きな機会	順位	ステージ（段階）

step3「第一位の機会が必要とするだけの人間を、第一位の人材から順番に割り当てる」

チームや人材						